

広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

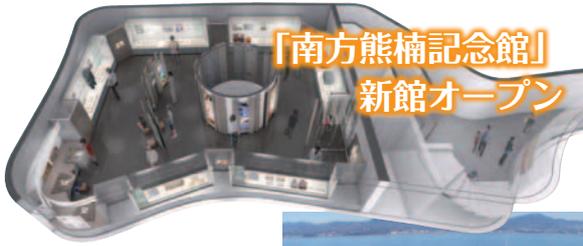
きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30
4月 2日 南方熊楠生誕150年
4月 9日 わかやまサイクリングフェスタ
4月16日 拡がる道路ネットワーク
4月23日 新消防学校開校
4月30日 知事と語る

県民チャンネル
月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド
毎月最終金曜 19:29~19:58

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00
※土・日曜は再放送がありません。
ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40~16:00
放送内容・時間は都合で変更場合があります。



**「南方熊楠記念館」
新館オープン**

南方熊楠記念館の
新館が3月19日に
オープンしました。
新館1階は記念館と
国立公園に指定された番所山を紹介し、2階
では南方熊楠の生涯や研究実績を映像や約
800点もの展示品により紹介しています。また、
屋上からは神島や円月島、田辺市街、白浜
温泉街、遠くは四国まで眺望できます。ぜひ
ご来館ください。
所在地: 白浜町3601-1
入館料: 大人500円、小中学生300円
問: 南方熊楠記念館 ☎0739-42-2872

【広告】 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ

「ここには
何もなくて…」



最近和歌山は、うれしいタイトルをたくさんもらいました。日本遺産「鯨とともに生きる」もそうですし、「南紀熊野ジオパーク」というのも、「世界津波の日」というのも、世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」もそうです。それらの価値を我々と和歌山県民が自覚、認識するとともに、広く世界にアピールして観光の振興にも結びつけていこうということで、記念シンポジウムといったものを次々と県内外で展開しています。

東京で行った「鯨とともに生きる」シンポジウムでは、テレビでお馴染みの山形弁の米国人ダニエル・カールさんが登場し、日本の田舎へ行くと、「ここには何もなくて…」と言う人が多く、謙遜という日本人の美德がうかがえるが、半分はお国自慢もしてくれないと他所から来た人は本当に何もなかったかと思ってしまうと語ってくれました。古座川で行われたジオパークシンポジウムの講師、地質学者の渡辺真人さんも「ここには何もなくて…」とよく地元の人が言うが、そんなことを言っていたら子供達が地元から逃げてしまうと言っておられました。

「和歌山は良い所がたくさんあるが宣伝が下手で。」と嘆く人が和歌山にはいっぱいいるのですが、県民が謙遜ばかりで「何もなくて…」と言っているのは、いくら県や市町村が一生懸命宣伝をしても効果が全くありません。和歌山県民こそって、和歌山の良い所を皆で大いに自慢いたしましょう。でもどこが良い所か知らなければ自慢もできません。既に中学生の子供達は学校で郷土教育の教科書「わかやま何でも帳」で勉強しています。大人の方々も、この本は書店で市販されていますので、ここからは是非自慢の種を仕込んでください。

和歌山県知事 仁坂 吉伸